

第 23 回 JCHO 高岡ふしき病院地域協議会（議事録）

日 時 令和 8 年 7 月 23 日（木）15 時 30 分～16 時 05 分

場 所 JCHO 高岡ふしき病院 2 階応接室

各委員

医師会：一般社団法人 高岡市医師会

宇野内科医院 院長

宇野 立人

行 政：高岡市福祉保健部健康増進課長・保健センター所長

島田 輝

利用者：社会福祉法人伏木会理事長

JCHO 高岡ふしき病院支援の会 会長

山崎 泰邦

（以上、敬称略）

病 院：高岡ふしき病院 院長

中辻 裕司

同 副院長

宮崎 幹也

同 副院長

和田 攻

同 看護部長

諸江 由紀子

同 事務長

江川 登 （進行）

内 容

中辻院長から、第 23 回地域協議会開催の挨拶があり、協議会の開催趣旨（独立行政法人地域医療機能推進機構協議会設置要綱第 5 条）により、中辻院長が議長となり議事に入った。

1. 院長挨拶

いつもお世話になっております。今日はこのような暑い中、また大変お忙しい中お越しいただきありがとうございます。

2. 報告事項 JCHO 高岡ふしき病院の現状と今後（院長）

スライドにて説明（省略）

3. 協議

① 医師会から

（宇野院長より）

3 月に、4 月から医師が減ることで体制が変わるという連絡があり午後に発熱の患者さんで忙しくなるかもしれないとお伺いしていたので

すが、発熱患者さん自体が多分そんなにいないと思うので、今のところ影響は出ていないです。今後、秋・冬になって忙しくなるかもしれないですが、今のところは大丈夫です。今まで通りといった感じです。ありがとうございます。

（病院：事務長より）

ありがとうございます。

② 行政から

（島田所長より）

高岡ふしき病院の皆様におかれましては、予防接種をはじめとする本市の保健事業へのご協力や、救急医療体制の確保、そして本市の医療の充実にご協力賜りましてありがとうございます。また、今年度から持続可能な地域医療の推進ということで、市長と公的4病院長との会議にもご参加いただきましてありがとうございます。今日の説明をお聞きしたり昨年度の資料を見させていただいたりしたところ、大変地域に根ざした取り組みをされているという印象を受けました。先ほども院長先生が地域に出向いて講演等に参加されたり、イオンモールで公的4病院が連携して取り組まれている糖尿病のイベントなどを拝見させていただきました。今年度のそういった地域に根ざした取り組みとして、これまでよりも力を入れているものや、これまでとの違いがありましたら教えてください。

（病院：院長より）

地域活動については、今年度もケアネットワークシステムの維持というところが中心にあり、そこは変わりありません。ですから、要請がありましたらいつでも我々が出向いて講演をしたいと思っています。また、在宅医療についても、高齢化が進んでいるため力を入れていきたいところですが、マンパワーが厳しいため今後充実していければと思います。

（島田所長より）

在宅医療の方に力を入れていかれるというお話でしたけれども、6月に診療報酬改定がありましたが、貴院は診療報酬的にどの様になったのでしょうか。

（病院：事務長より）

在宅に関しては今回の診療報酬改定では特に変わりありませんでした。

③ 地域・患者の立場から

(山崎会長より)

高岡ふしき病院がこの地域にあるというだけで、非常に安心感があるということをも申し上げているとは思いますが、ご存じのように、能登半島地震が発生してから、もともと高齢化率の高い地域だったものが10年ぐらい一遍に進んでしまったのかなというような実感があり、若い方たちも出ていき、いきなり高齢者割合が40%を超えた地域になってしまい、ますます高齢者に対する医療提供が必要となります。これからは在宅をやらないと、なかなか病院まで来るとするのは難しいのかなということが考えられます。

実は私がライオンズクラブの方で活動をしていることもありまして、院長先生と事務長さんにお話しさせていただいているんですけども、「LCIF」と言って、その地域が困っていることに対して支援をするという制度があります。ちょうど能登半島地震から2年半過ぎたわけですけども、「LCIF」よりこちらの方に問い合わせが来まして、本当はドクターカーの寄附の話でしたが、それをもらっても宝の持ち腐れになるというような話もあったので、今訪問診療の方の充実で、車両が相当傷んでいるというお話を伺ったので、そちらに切り替えて今申請をしています。実は、昨日その担当の人とお会いしたので、進捗状況はどうですかという話をしたのですが、「まだはっきりとした結果は届いていない。もう少し待ってほしい。」という話でした。少しでもお役に立てればいいかなということで動いているのは事実です。地域の高齢者の皆さんが安心して暮らせるレベルが上がればいいかなというふうには思っています。

また、地域包括ケアネットワークの話でいきますと、伏木・古府・太田エリアから守山・二上・能町エリアに拡大して、高岡市北部地区全土がカバーされた状態で、今までは情報提供と顔合わせという二つの側面で動き出して、これからは内容の充実ですよというのを昨年申し上げたというふうに思います。ニーズがどんどん変わっていくということで、今年の高岡ふしき地域包括ケアネットワーク総会での高齢者の詐欺の被害を防止するという講演は、時代にあった大変いい講義だったかなと思います。ケアマネの皆さんも家に行った時に見る視点が変わったと言っていました。何か情報があるのではないかなというふうに見るようになった等、非常に大きな影響があったのかなというふうに、大変ありがたいと思っていますということでございます。これからもそういう意味では、地域にタイムリーな情報を提供していただけるような活動をしていただければいいかなというふうに思います。

(病院：事務長より)

ありがとうございます。

④ 管理者から

(病院：宮崎副院長より)

在宅診療についてですが、今まではだいたい一人でやっておりましたが、6月から来たドクターや、今は出向しているドクターが戻って来てくれば、もっと拡充していけると思っています。また、以前から訪問看護と訪問リハビリも当院の医療従事者が力を入れておりますので、そういう意味では、この地域の高齢者在宅医療に関しては、十分やっていると考えております。

(病院：和田副院長より)

宇野先生から、午後診療の初診がなくなったことについて今はまだ問題ないと言っていたきましたが、もし問題があった場合は、地域連携室に一報入れていただければと思います。もしもの場合は、医師が電話で対応すると思います。

あと1つ、以前から地域区のバスが動かないとか、高齢者が利用できる交通手段が少ないなど、そこが大きな難点になっていると聞いています。以前、滑川市に行った時に、地域の方から異業種が連携をして、格安の予約制で動く交通手段というような試みをやっていました。そのような試みを参考にされて、市のほうに何か相談したことはありますか。

(山崎会長より)

以前に地域バスの運行の話がありプランニングまでいきました。世帯あたり月300円負担で1900万円ぐらい集まる地域です。それで、フル運行をして乗車料金をとらないという計画を作成したが、営業路線とバッテリーしている路線もあり民営圧迫になるためそこを外してくれというような話になりました。ただ、そこを外すとすべての地域を回れないし、どうすればいいのかと。ただ、その時に比べて行政の支援のメニューもどんどん増えているので今だったら、市が入ってくれるのかもしれない。行政が入らないと難しいですね。

また、リクエストすると運行者に乗車リクエストありますよという情報がいつ、ルートも決まるというソフトの提供もあるというのを聞いているので、今だったら、実現するかもしれないですね。ただ、交通のサービスを提供しようとしたら、いろんな問題があるというのは分かりました。

(病院：和田副院長)

地域完結という点で、開業医のところとかも運行が実現できればいいなというのは思っています。

(病院：看護部長より)

マスコミでも取り上げていただけていますが、この4月から診療看護師を1人採用いたしました。診療看護師とは、一応看護行為になっているのですが、かなり医療行為に近い処置をできる看護師です。ミニドクターではなく、看護の視点も持って、医師と看護師の橋渡しをしながら、患者さんに近い位置で身体のことをアセスメントして医師に報告したり、ある範囲では自身の判断で処置ができたりとかするので、医師の少ない当院にとっては結構な戦力になってくれているかなと思っています。もう少し慣れたら、地域や訪問診療に同伴したり、またニーズがあればいろんな地域の施設等にも出向いていくことも考えておりますので、また見守って頂ければと思います。よろしくお願い致します。

(病院：事務長より)

高岡ふしき病院は小さな病院で、地域の方に支えられてやっている病院ですので、行政、近隣の先生方、介護施設の方々、住民の方々のご支援をいただかないとやっていけないもので、これからもよろしくお願い致します。

(病院：院長より)

まわりの方々に支えられながら、そして私達はここにいる人達のためにできる限りのサポートをしていきたいと思っているので、今後ともよろしくお願い致します。

4. そ の 他

次回の開催予定日時の確認

日程：第24回 令和9年2月25日(木) 15:30～

場所：JCHO高岡ふしき病院 2階応接室

5. 閉会挨拶(宮崎副院長)

本当にお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございました。今後とも、また地域の為に頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。